

平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本ファルコム
 コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 近藤 季洋
 (氏名) 中野 貴司

TEL 042-527-0555

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	542	△29.5	201	△51.2	202	△50.6	144	△49.2
27年9月期第2四半期	770	63.7	413	201.6	410	197.1	285	218.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	14.10	—
27年9月期第2四半期	27.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	3,709	3,598	97.0	350.04
27年9月期	3,856	3,525	91.4	342.94

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 3,598百万円 27年9月期 3,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年9月期の期末配当金の内訳 普通配当5円00銭、記念配当2円00銭

3. 平成28年 9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	7.9	700	1.0	700	1.4	469	2.8	45.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期2Q	10,280,000 株	27年9月期	10,280,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期2Q	102 株	27年9月期	102 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	10,279,898 株	27年9月期2Q	10,279,937 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に関する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第2四半期累計期間の製品部門におきましては、東京ゲームショウにおいて来場者の投票により選ばれる「日本ゲーム大賞フューチャー部門」を、出展社数473社、出展数2,004タイトルと過去最大規模になる中から受賞したり、ユーザーから支持され且つゲーム業界の発展に多大な貢献をしたと認められる優れたゲームをファン投票により選ばれる「ファミ通アワード」を受賞したりするなど、新規タイトルにもかかわらず高い評価をいただいております。平成27年9月発売の「東京ザナドゥ」(平成27年9月発売)の販売が継続しております。平成28年3月には、この「東京ザナドゥ」をお買い求めやすい価格に設定した「東京ザナドゥ SAKURAまつりパッケージ」を発売しました。

また、「イース」シリーズ最新作「イースⅧ—Lacrimosa of DANA—(ラクリモサ・オブ・ダーナ)」を鋭意制作中です。「イース」シリーズは1987年にその第1作が発売されて以来、様々なプラットフォームへと移植され、北米・欧州・アジアを中心とする海外へも展開しているアクションRPGの金字塔として、国も世代も超えた数多くのファンに愛され続けてきた、「軌跡」シリーズと並ぶ日本ファルコムの代表作となります。

その結果、製品部門の当第2四半期累計期間の売上高は191百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

ライセンス部門におきましては、国内において携帯型ゲーム機PlayStation®Vita向けゲームソフト「英雄伝説 空の軌跡SC Evolution」を平成27年12月に発売しました。また、「ファンタシースターオンライン2」や「チェインクロニクル～絆の新大陸～」(株式会社セガゲームス)、「太鼓の達人 Vバージョン」(株式会社バンダイナムコエンターテインメント)などのゲームタイトルとのコラボレーション企画を展開しました。

さらに、当社が過去に発売した「イース」や「軌跡」シリーズの旧タイトルPCゲーム英語版ダウンロード販売の他、北米及び欧州において、携帯型ゲーム機PlayStation®Vita向けゲームソフト「英雄伝説 閃の軌跡」英語版を発売し、アジア地域においては、「英雄伝説 空の軌跡FC Evolurion」繁体中国語版及び韓国語版と「イース セルセタの樹海」繁体中国語版及び韓国語版を発売しました。

その結果、ライセンス部門の当第2四半期累計期間の売上高は351百万円(前年同期比35.0%減)となりました。

それらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は542百万円(前年同期比29.5%減)、営業利益は201百万円(前年同期比51.2%減)、経常利益は202百万円(前年同期比50.6%減)、四半期純利益は144百万円(前年同期比49.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が415百万円増加したことに対し、売掛金が547百万円減少したことにより3,709百万円(前事業年度末比3.8%減)となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が102百万円減少したこと、未払法人税等が32百万円減少したことにより111百万円(前事業年度末比66.4%減)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い71百万円があったことに対し、四半期純利益を144百万円計上したことにより3,598百万円(前事業年度末比2.1%増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,052,949	3,468,027
売掛金	586,647	39,406
製品	2,487	1,249
原材料	3,807	3,294
その他	40,324	32,711
流動資産合計	3,686,216	3,544,689
固定資産		
有形固定資産	7,389	5,977
無形固定資産	5,374	4,479
投資その他の資産	157,375	154,387
固定資産合計	170,139	164,844
資産合計	3,856,356	3,709,533
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,330	4,494
未払法人税等	83,053	50,518
賞与引当金	20,250	11,250
その他	120,383	44,920
流動負債合計	331,017	111,184
負債合計	331,017	111,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	3,041,962	3,114,973
自己株式	△117	△117
株主資本合計	3,525,338	3,598,349
純資産合計	3,525,338	3,598,349
負債純資産合計	3,856,356	3,709,533

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	770,173	542,977
売上原価	69,750	69,317
売上総利益	700,423	473,660
販売費及び一般管理費	286,639	271,813
営業利益	413,783	201,846
営業外収益		
受取利息	309	332
受取配当金	-	286
未払配当金除斥益	865	702
営業外収益合計	1,174	1,320
営業外費用		
為替差損	4,515	285
営業外費用合計	4,515	285
経常利益	410,443	202,882
税引前四半期純利益	410,443	202,882
法人税、住民税及び事業税	94,039	47,692
法人税等調整額	30,958	10,218
法人税等合計	124,998	57,911
四半期純利益	285,445	144,970

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	410,443	202,882
減価償却費	3,282	2,694
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,500	△9,000
受取利息及び受取配当金	△309	△618
売上債権の増減額(△は増加)	1,447,745	547,240
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,353	1,751
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,259	382
仕入債務の増減額(△は減少)	△298,997	△102,836
未払金の増減額(△は減少)	△82,099	△51,997
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,247	△22,545
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,992	△669
小計	1,410,418	567,282
利息及び配当金の受取額	309	618
法人税等の支払額	△524,149	△81,058
営業活動によるキャッシュ・フロー	886,579	486,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	—	△387
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△80	—
配当金の支払額	△101,484	△71,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,565	△71,378
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	785,013	415,078
現金及び現金同等物の期首残高	2,465,346	3,052,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,250,359	3,468,027

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。